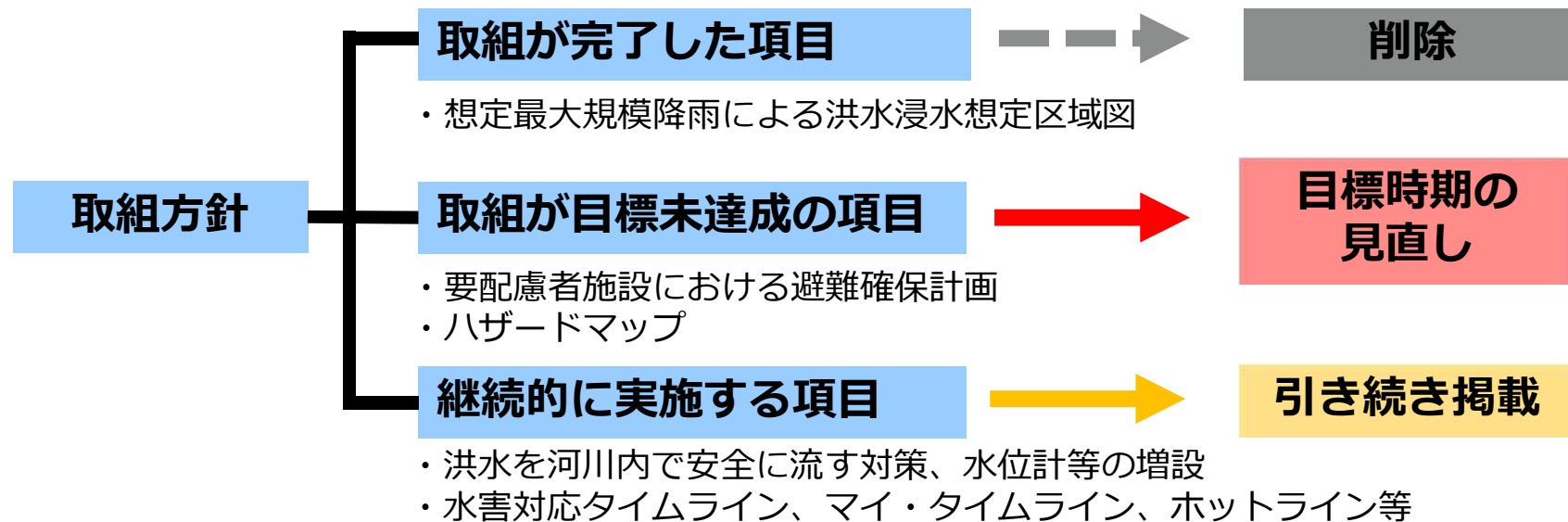


取組方針の改定

背景

- 「取組方針」については、この5年間で取組が完了した項目もあるが、目標未達成の項目や継続的に実施する項目が多くあることから、目標達成に向けて取組を継続する必要がある。
- そこで、「取組方針」の減災目標としている令和3年度を迎えたことから、目標年度を令和8年度とする「取組方針」として改定する。



取組方針の改定（主な内容）

共通編

1－1．はじめに

- 文章内容を変更⇒**流域治水の追加**
- 取組方針の目標時期を変更（令和3年度⇒**令和8年度**）

1－3．減災のための目標

- 減災目標を変更（令和3年度⇒**令和8年度**）

1－4．目標達成に向けた主な課題と取組

- 浸水想定区域図やハザードマップの見直し⇒**ハザードマップの改良、周知、活用**
- タイムラインの整備⇒**検証・見直し**

1－5．フォローアップ

- 協議会の開催時期を変更（出水期前後開催⇒**毎年開催**）

地域編

2－1．地域の概要と主な課題

- 令和元年東日本台風・令和3年7月の大雨の**被害状況を追加**

2－2．現状の取組状況

- 現状と課題を変更
 - ・想定される浸水リスクの周知（「○現状」に**想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域公表の追加等**）
 - ・避難情報の発令（「●課題」をタイムラインの整備⇒**検証及び見直し**）
 - ・その他（「避難勧告等」⇒**「避難情報」**）

2－3．概ね5年で実施する取組

- ソフト対策の主な取組を変更
 - ・ホットライン構築⇒**体制確認** ・タイムラインの検討・作成⇒**検証・見直し**
 - ・想定規模最大降雨による洪水浸水想定区域図等の公表⇒**削除**
 - ・洪水ハザードマップの拡充⇒**改良、周知、活用（※準用河川等を含む）**
 - ・要配慮者等への対応等を考慮した避難計画の検討⇒**作成及び避難訓練の実施**